

平成19年9月26日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長
里 見 治
(コード番号 6460 東証第一部)
問 合 せ 先 執 行 役 員
堀 田 正 君
(電話番号 03-6215-9955)

当社子会社（株式会社トムス・エンタテインメント）の
平成20年3月期中間期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

当社の子会社である株式会社トムス・エンタテインメントは、平成19年5月9日の決算発表時に公表した平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の中間業績予想について、別添のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社の業績への影響は軽微なものであり、本件による当社の業績予想の修正はございません。

以上



平成19年9月26日

各 位

上場会社名 株式会社トムス・エンタテインメント
代表者名 代表取締役社長 古賀 督 徳
コード番号 3585
上場取引所 名証第2部
問合わせ先 常務取締役管理本部長 山田 克 博
(TEL 03-5325-9111)

平成20年3月期中間期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年5月9日の決算発表時に公表いたしました平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期 連結業績予想の修正

(1) 中間期（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	7,680	560	550	250	5円88銭
今回修正予想 (B)	7,320	420	450	350	8円23銭
増減額 (B-A)	△360	△140	△100	100	2円35銭
増減率 (%)	△4.7%	△25.0%	△18.2%	40.0%	40.0%
(ご参考) 前期(平成19年3月期中間)実績	6,589	699	702	595	13円99銭

(2) 修正理由

売上高につきましては、アニメーション事業の海外販売および商品化権販売の不振、またアミューズメント事業の既存店の不振などにより、前回発表値より3億6千万円下回る見込みとなりました。

営業利益、経常利益につきましては、上記アニメーション事業の売上高減少の影響を受け、営業利益については前回発表値より1億4千万円、経常利益については前回発表値より1億円下回る見込みです。

一方、中間純利益につきましては、閉鎖店舗のゲーム機器の除却損が減少したこと、並びに税効果会計により税金費用が減ったことなどで、前回発表値より1億円上回る見込みです。

(3) 通期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

通期業績予想につきましては、当中間期における計画未達および下半期以降の厳しい経営環境等を勘案し、現在、見直しを検討しております。11月2日に予定している中間決算発表時に公表させていただく予定です。

2. 平成 20 年 3 月期 個別業績予想の修正

(1) 中間期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	7,480	520	530	240	5 円 64 銭
今回修正予想 (B)	7,230	380	420	320	7 円 52 銭
増減額 (B－A)	△250	△140	△110	80	1 円 88 銭
増減率 (%)	△3.3%	△26.9%	△20.8%	33.3%	33.3%
(ご参考) 前期(平成 19 年 3 月期中間)実績	6,373	661	688	592	13 円 92 銭

(2) 修正理由

連結業績予想の修正理由と同じ理由により、売上高につきましては前回発表値より 2 億 5 千万円、営業利益につきましては前回発表数値より 1 億 4 千万円、経常利益につきましては前回発表値より 1 億 1 千万円、それぞれ下回る見込みです。

一方、中間純利益につきましても、連結業績予想の修正理由と同じ理由により、前回発表値より 8 千万円上回る見込みです。

(3) 通期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

通期業績予想につきましては、当中間期における計画未達および下半期以降の厳しい経営環境等を勘案し、連結と同様、個別につきましても現在、見直しを検討しております。11 月 2 日に予定している中間決算発表時に公表させていただく予定です。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上